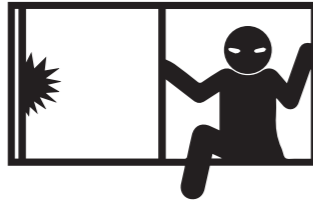


## 市内の主な犯罪

### 侵入窃盗(空き巣・忍び込み)

市内では、鍵を掛けていないことによる侵入窃盗や空き家を狙った侵入窃盗が多く発生しています。戸締りをしていても、犯人は窓ガラスを割って侵入することもあります。



### 車上ねらい・自動車盗

鍵を掛けていない車を狙い、車内に侵入し、財布やバッグなどを盗む車上ねらいが多く発生しています。侵入窃盗と同様に窓ガラスを割られるケースも多くあります。



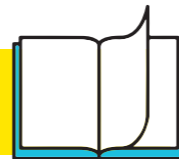
また近年、高級車種や人気のSUV系の車種などを狙った自動車盗も多発しています。主流となっている犯行手口は、車両に特殊な機械を接続して制御システムを乗っ取り、不正にエンジンを始動させるもので、施錠された車両やエンジンキーが適切に保管されている車両も被害に遭っています。

### 自転車盗

今年10月末時点で61件(行田警察署調べ・前年+22パーセント)の自転車盗難被害が発生しており、その内64パーセントに当たる39件は、無施錠での被害でした。発生場所は、公共駐輪場(JR行田駅付近)や県道128号線沿線の住宅敷地内での被害が目立っています。



次のページで対策を紹介!

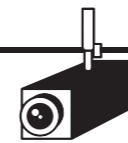


# 「防犯意識を高める」 —自分や自分の大切なものを守ろう—



年末年始は人々の動きが慌ただしくなり、帰省や旅行などで家を長期間空けることも多いため、窃盗・空き巣被害などが増加する傾向にあります。また、今年増加している自転車の盗難をはじめ、車上ねらいや、特殊詐欺など私たちの生活の身近なところでさまざまな犯罪が起こり続けています。

犯罪から自分や自分の家族・財産を守るよう、防犯意識を高め、対策をしっかりと行い、被害防止に努めましょう。

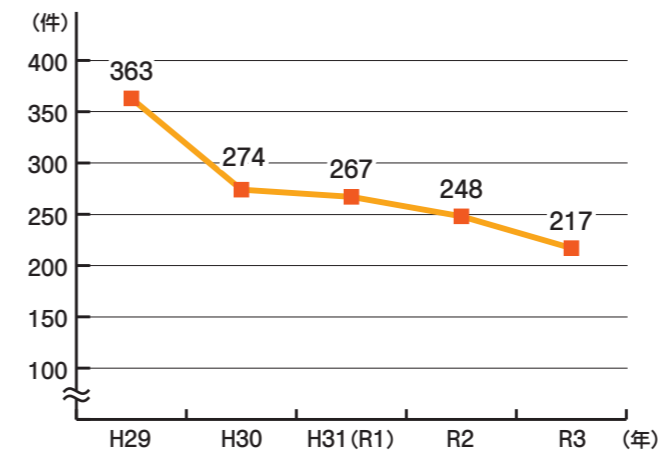


## 市内における刑法犯罪の現状

市内における刑法犯罪認知件数は年々減少傾向にあります。要因としては、防犯カメラの増加や、少子化により検挙人員が相対的に多い若者の人口が減少していることなどが挙げられます。それでも、年間217件(令和3年)の刑法犯罪が発生しているのが現状です。犯罪のほとんどは、自転車盗、万引き、侵入窃盗、車上ねらいなどの窃盗事案となっています。地区別では、持田地区、長野地区、太井地区での発生が多い傾向にあり、理由としては、商業施設、スーパーマーケット、駅などがあり、人が多く集まることが挙げられます。

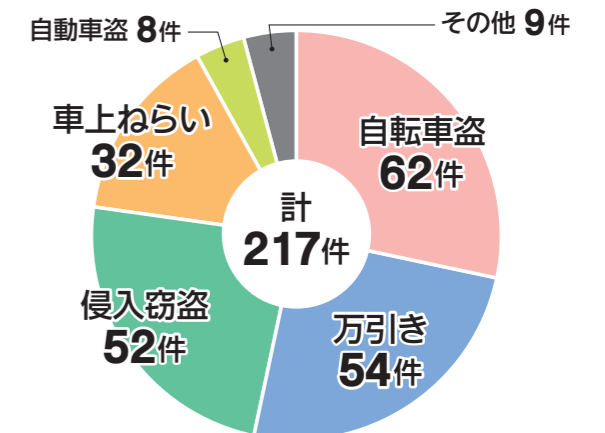
自転車盗は近年特に増加しており、令和3年データでは市内の主要犯罪認知件数の約3割を占めています。侵入窃盗については、今まで事業所での窃盗が大半を占めていましたが、今年8月から空き家での窃盗が急増しており、8月は10件中5件、9月は15件中7件、10月は10件中6件(行田警察署調べ)と侵入窃盗の約半数を占めるようになりました。

市内における主要犯罪認知件数の推移



行田警察署「行田市内における主要犯罪発生状況」をもとに作成

主要犯罪認知件数の内訳(令和3年)



### 01 預貯金詐欺・キャッシュカード詐欺盗

金融機関職員、警察官などを名乗り、「キャッシュカードが不正に使われている」と言い、暗証番号を聞き出したり、キャッシュカードをすり替えたりします。

**ポイント** 警察官や銀行協会員などがキャッシュカードを取りに来たり、暗証番号を聞いたりすることはありません。

それって  
本当に



### 02 架空料金請求詐欺

嘘の未納料金請求メールや法務省、裁判所などから訴訟告知はがきなどが送られ、実際には使用していない料金を支払わせようとしています。

**ポイント** サイトの閲覧など(事前に料金の説明なし)で料金を請求されることはありません。書かれている電話番号やメールアドレスには絶対に連絡をしないでください。

### 03 オレオレ詐欺

息子や孫などになりすまし、「電話番号を変えた」、「会社の金を使い込んでしまった」と言い、同僚や知人を名乗るものに現金を取りに来させたり、レターパックなどで現金を送るよう指示してきます。

**ポイント** 電話でお金の話が出たら、いったん電話を切り、本人の電話番号に掛け直したり、家族に相談したりしましょう。

払って  
いいもの?

### 04 還付金詐欺

自治体、税務署、年金事務所の職員などを名乗り、医療費、税金、保険料などの還付金があると言い、ATMを操作させ、犯人側の口座にお金を振り込ませます。

**ポイント** ATMでお金が返ってくることは絶対にありません。また、自治体などが電話でATMの操作依頼や口座番号、預金残高を聞いてくることもありません。